

◆協議会20周年特集◆

日赤図書室協議会

全国会員病院図書室紹介

❖北見赤十字病院図書室

野村 祐子



当院は、北海道東部・オホーツク医療圏域の中核病院としての役割を担っています。現在は、新病院建設に向けて工事が進められており、新本館は平成26年9月に開院予定です。図書室は南館を改修・増築した場所に設置しますので、約1年遅れの引っ越しとなります。グランド・オープンは、平成27年12月を予定しております。新しい図書室に向けて、期待と不安が半々ですが、「いい経験」と捉えて前向きに取り組んでいきたいと思っています。

❖旭川赤十字病院図書室

荒谷 則子



当院図書室は、病院増改築に伴い2009年4月に現在の外来棟5階に移転しました。図書室からの見晴らしは良好で山並みが一望できます。職員は24時間開放ですが、司書在室時間帯は市内外の地域医療連携登録医の皆様にも開放しています。

今年の旭川は、熱帯夜が続き厳しい夏でしたが食欲減退？ 夏痩せ？ 全く無縁でした。秋色も深まり食べ物の美味しい季節が間近です。厳冬に備え十分に栄養補給して体力を蓄え業務に励みたいと思います。

❖総合病院伊達赤十字病院図書室 ————— 小野佳代子



図書室は3階医局前に設置されており、24時間利用可能です。管理には司書アシストを導入、書架は固定式で「医学図書」「医学雑誌」「看護雑誌」に分かれております。

これまでは患者図書室の改装に力を入れていましたが、昨年度からは医学図書室の分類表示板を付け替え、今年度は書籍の表示ラベルを診療科ごとに色別に作ることを目標に一人三役で頑張っています。

❖八戸赤十字病院図書室 ————— 金澤由香里



八戸赤十字病院図書室は、昨年度医局フロアの改装に伴い図書室が縮小されました。十分な保管場所の確保が困難となりました。各科の先生方と相談の上、処分書籍・各雑誌の保管期間を決定致しました。現在、保管雑誌の整理と確認を少しずつ行っております。

その為、他施設への文献依頼が増加しており、お手数をお掛けする事があると思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

❖盛岡赤十字病院図書室 ————— 鷹觜ゆう子



盛岡赤十字病院図書室では、医学図書を約12,000冊、医学雑誌を約70種類扱っています。日常業務や職員のスキルアップに役立っています。

また、インターネット環境が整ったパソコンも設置しています。電子ジャーナルの閲覧や最新の情報を調べるのにも活用されています。

これからも職員が利用しやすい環境を提供していきたいと考えております。

❖仙台赤十字病院図書室

鈴木睦美



仙台赤十字病院の図書室は、病院の2階医局の隣にあります。約77㎡の広さで、国内図書が約1,200冊、国外図書が、約370冊、国内雑誌が冊子体で約76種類、国外雑誌が冊子体で約54種類あります。閲覧用のパソコンが2台あり、24時間利用が可能です。

❖石巻赤十字病院図書室

羽田智和子



当室は、今年度から院内のスペース不足のため、図書室の一角を他部署と共有することとなり、3分の2に縮小されました。

移転時から図書室の整備・電子化が進められてきましたが、東日本大震災によって、以前の病院に保管していた雑誌等が流されてしまったこともあり、現在はスペースを確保しなくてもよい・どこでも閲覧可能な電子ジャーナルが主流になっています。

❖福島赤十字病院図書室

小沼あゆみ



今年度より日赤図書室協議会に入会いたしました、福島赤十字病院と申します。よろしくお願いたします。

ここに当院図書室の現況について、ご報告いたします。

現在図書室には常駐職員がおらず、パソコン等の電子機器も設置されておりません。各部署で保管できなくなった雑誌を配架しておく、まさに倉庫です。

今は、雑誌の保存年限を決めて廃棄を進め、スペースを確保する為、蔵書一覧を作成中です。今後も、利用しやすい環境を皆様に提供できるよう励んで参ります。

❖水戸赤十字病院図書室

大高 静香



水戸赤十字病院の医学図書室は、面積約85㎡で閲覧席4席、個人席6席、検索用パソコン机3席を整備し、別棟に所蔵庫として約35㎡有しています。

図書担当者が兼任1名であるため、主にバックナンバーの保管・閲覧、ネット検索、ワークスペース等としての活用が中心となっています。24時間利用可能で利便性が高いものの、利用者に偏りがあることから、現在院内全体への周知に取り組んでいます。

❖足利赤十字病院図書室

沼田 裕子



足利赤十字病院は栃木県南西部に位置し、新棟移転後2年が経過しました。旧棟に比べてハード面での充実が計れましたので、今後はデジタルサイネージなども利用して院内広報活動にも力を入れていきたいと考えております。

協議会の皆様、今後ともご指導の程、宜しくお願い致します。

❖芳賀赤十字病院図書室

横田 雄子



当院の図書室は総合医局内と北館2階の奥に小さな図書室があります。総合医局の、医師用の医学雑誌の新刊と、共同購入により導入したメディカルオンラインをはじめとする電子図書の利用も可能となっています。小さな図書室は写真の様に研修医も勉強するのに最適な静かな場所です。

❖那須赤十字病院図書室

入田和恵



当院は、昨年の7月に新築移転し、はや一年が過ぎました。医局の一角に図書室があるような環境にもずいぶん慣れました。室内の備品は白を基調に明るい雰囲気ですが、外の景色が見られなくなってしまったので、観葉植物を8鉢置いて、時折目を休めています。確保できた患者様用の図書室は図書情報センター、職員用図書室は医学図書室へ名称変更しました。医学図書室の名前に負けないよう整備していくことが、私の今後の課題です。

❖前橋赤十字病院図書室

塚越貴子



開院100周年を迎えた当院は病床数592床の地域中核病院です。図書室は平成12年開設後、「困ったことがあったら図書室へ」を合言葉に草の根活動を続け、着実に蔵書・利用者を増やしました。ただいま5年後の新病院移転に向け、準備を始めているところです。職員カード入室、ラーニングcommons、人員増加と要望は尽きませんが、“来る者拒まず・去る者追わず”の精神で仕事に取り組んでいます。今後も“情報と人をつなぐ図書室”であり続けたいです。

❖原町赤十字病院図書室

春原希美枝



当院では図書室専任の職員がいないため、総務課が図書室の管理をしています。「図書室」と呼べるほどのスペースもないのですが、狭いながらも職員が有効利用できる明るい図書室にしたいと思っています。なかなか上手に書籍の整理ができないので図書室協議会のみなさんからアドバイスがいただければありがたいです。

❖深谷赤十字病院図書室

中村 哲子



当図書室は、蔵書2,360冊、購読雑誌タイトル85誌（うちEJ10誌）の小さな図書室です。

担当者が午後1時までの勤務のため、日々の仕事に追われて“理想の図書室”にはほど遠い存在ですが、親切・丁寧をモットーに利用者のための図書室を目指していきたいと思っています。

所蔵雑誌が少ないため相互利用ではお世話になるばかりですが、当院でお役に立てる時はぜひお申し込みください。いつもお待ちしております。

❖さいたま赤十字病院図書室

原田 茂



現在の病院は2016年に、「さいたま新都心」に新病院として埼玉県立小児医療センターと同時に移転します。移転後の図書室間の連携が課題となっています。蔵書数は単行書が約5,200冊、雑誌バックナンバーは15年分の保管となっていますが、新病院では面積が現在の3/4となり、消防法の関係で書架は現在の1/2と少なくなります。2012年の文献申込数は平均1,023件、受付数は436件ですが、電子ジャーナルのパッケージなどの導入により、申込数は減少の傾向があります。

❖成田赤十字病院図書室

原 康江



日赤図書室協会発足20周年おめでとうございます。図書業務は初めてで、今でも日々の業務に追われる余裕のない毎日を送っております。日赤のスケールメリットを活かし、研修会等で必要な情報、知識・技術を提供していただくことにより、今後の図書室業務の向上と自分自身の研鑽に努めて参りたいと考えております。そして、多くの方に利用され、使い易い図書室であるよう、願っております。今後とも宜しくお願い致します。

❖武蔵野赤十字病院図書室

井上 康子



当院の図書室は、医局の拡充や図書の電子化への移行に伴い、平成23年4月にスペースを縮小しました。昨年2月から図書室勤務となり、書籍の整理・データ化を進め、あっという間に1年半が過ぎてしまいました。しかし、その間に多くの電子資料を保有することが出来ました。20周年を迎えた協議会と共に、更に職員が利用しやすい環境を築いていきたいと思えます。これからもご指導宜しくお願い致します。

❖葛飾赤十字産院図書室

秋葉理恵子



葛飾赤十字産院は、「男はつらいよ フーテンの寅さん」で有名な葛飾柴又のお隣に位置し、病床数は113床で（産婦人科71床、NICU・GCU42床）赤十字では唯一の産婦人科・小児科の2科からなる産院です。

図書室は、建物の5階にあり、狭いながらも閲覧スペース8席、利用者用パソコン4台、コピー/スキャナー/FAX複合機を1台設置しております。まだまだ十分な環境ではありませんが、利用しやすい図書室を目指して行く所存でございます。

❖大森赤十字病院図書室

藤村 恵子



大森赤十字病院図書室は2011年10月の新病棟立替に伴い、4階の医局、研修医室隣に移転しました。24時間利用可能で、面積は15.4㎡、パソコン5台(2台は電子カルテ専用)、閲覧機2台で残りのスペースは書架になっています。目下の問題は書架不足、4月に着任したばかりですが、まずは図書・雑誌の整備と除架、そして利用ガイドの作成など、小規模ながらも利用者のニーズに答えられるような図書室作りを目指していきたいと思っています。

❖横浜市立みなと赤十字病院図書室 ————— 吉村 晶子



当院図書室は、医局に隣接しており、医師にとって利用しやすい場所にあります。図書・雑誌ともに蔵書数は少ないですが、パソコンは6台設置しており、医師に限らず看護師の方々にも多く利用されています。

今後は、年々増えている文献の申込に対応するため、効率よく入手できるよう心がけていきたいと思っています。依頼件数が多くて申し訳ありませんが、今後ともよろしく願いいたします。

❖長岡赤十字病院図書室 ————— 林 よしみ



病院図書室に異動となり、二年目を迎えています。一年目は、一人右往左往しながら慌ただしく過ごしていたため、余裕がない状態で業務をこなしていました。そして二年目。少しずつではありますが、経験を重ねることで以前よりは周りが見えるようになってきたかなと思います。皆さまからもお力添えをいただき、今まで以上に日々の業務に励んでいきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

❖富山赤十字病院図書室 ————— 川渕佳奈子

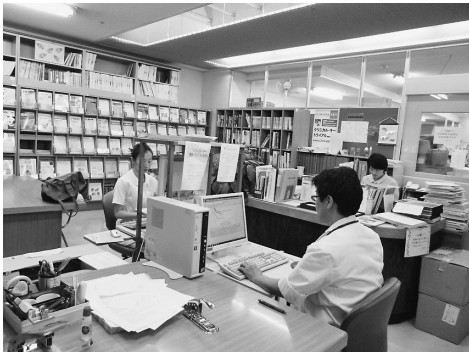


富山赤十字病院の図書室は、隣接する富山赤十字看護専門学校の一階にあります。現在およそ、基礎分野4,000冊、専門分野10,000冊、学術雑誌50種類を所蔵しています。医師やコメディカル、看護学生が、日々マナーを守りながら、読書や自習に利用しています。

看護専門学校と病院の担当者が協力しあって、書籍等の購入や整理を行い、図書室を管理しています。

❖長野赤十字病院

関森由美



図書担当は司書1名、職員(兼務)1名です。図書室は医局に隣接、独立しており、静かな環境で職員は24時間利用できます。また、閲覧のみ院外の医療関係者にも開放しています。閲覧席は8席、自由に閲覧できるネットPCを4台設置しています。国内誌136タイトル、外国誌58タイトルを購読中で、保存期間は15年間です。フル・テキスト・データベース、電子ジャーナルの導入も進めており、本年12月より『CLINICAL KEY』導入予定です。

❖飯山赤十字病院図書室

小林紀子



当院の図書室の目的は、診療・教育・研究・管理に従事する医師、看護師、コメディカルをはじめとした医療従事者の情報要求に対応できる図書サービスを行うことを目的とし、日々業務を行っています。当院には司書が配置されていないため、診療情報管理士が手練りに対応しているのが現状です。位置も医局と離れており利用しにくい、司書がいないため図書のノウハウが理解できていない、図書室のPRができていない、図書業務に時間をかけることができないなどの問題が山積みのため、会員施設に大変助けられています。これからも、図書業務の変化に

対応できるように研修会にも積極的に参加しスキルアップにつなげたいと思っています。ご指導いただいている図書室の方に感謝申し上げます。

❖諏訪赤十字病院図書室

杉本あゆみ



当院図書室は3階医局の隣にあり、24時間利用可能です。日当たりが良い図書室で、窓際に閲覧席が並んでいます。資料としては和雑誌78誌、洋雑誌36誌、オンライン誌14誌を購読しています。室内にはパソコン3台、スキャナー、プリンターが置かれ、情報検索以外にも、資料の作成・印刷等に幅広く活用されています。

❖安曇野赤十字病院図書室

西澤 明子



安曇野赤十字病院は、17診療科、病床数321床で、地域の中核医療機関として赤十字病院の理念にある「質の高い医療」の実現を目指しております。

平成21年7月に新病院となり、2階医局と隣接して図書室を設置いたしました。旧病院から新病院へ引っ越す際に蔵書の整理を行い、メディカルオンライン・Up To Dateの電子ジャーナルを購入し、院内に設置しているインターネット端末から閲覧可能できるよう整備いたしました。

皆様には文献複写等でお世話になっておりますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

❖静岡赤十字病院図書室

天野いづみ



新築2年目の病院に入社してから早十数年。今冬、耐震新棟に引っ越しです。多くの病院が、新築のたびに図書室が縮小。当院も同様に一角を研修医室に奪われ、L字形の図書室です。予算上、電子ジャーナル、ブックの移行も中途半端で、そんな歯がゆい思いを激務で忘却している毎日です。

❖浜松赤十字病院図書室

阿部 康世



日赤図書室協会設立20周年おめでとうございます。

この度、歴史ある「日赤図書館雑誌」に、新任のご挨拶をさせていただくことになりました。平成25年4月より浜松赤十字病院図書室に勤務しております、阿部康世と申します。

図書業務は初めてで一から勉強中です。戸惑いもありますが、日々成長できるように努めて参りたいと思います。

至らない点もあり、ご迷惑をおかけしますが、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

❖名古屋第一赤十字病院図書室

飯田 夏子



図書室を紹介します。広さは107㎡、インターネット端末は8台あります。統計ソフトや動画編集ソフトもあり、よく利用されています。国内雑誌103種、外国雑誌114種(うちEJ契約103種)を契約しています。蔵書数は、約3,000冊です。職員カードで24時間入室できます。引っ越しをして5年目なので明るい室内です。以前の図書室に比べて半分の広さになり書架も一杯なので、対応策を考える近頃です。

❖名古屋第二赤十字病院図書室

宮岡千代子



当院の図書室は古川記念医学図書館の名称で平成2年から新しく開館しました。

開館当時は本棚、机、椅子と木目調に統一した落ち着いた雰囲気のある図書室として親しまれていました。が、時代とともに冊子体からオンラインジャーナルに差し替えていく中、図書室の一部を会議室に割譲したため図書の許容スペースが縮小されてしまいました。

当院は来年創立百周年を迎えることになり、狭くなった図書室の改装計画をしています。環境整備された図書室が出来ることは楽しみです。図書係員としての役割も見直し、図書室存在のPR活動に努めたいと思います。

❖岐阜赤十字病院図書室

浅野 雄大



日赤図書室協会発足20周年おめでとうございます。

岐阜日赤では、平成24年度より、教育研修推進室が院長直轄組織として独立し、専従職員が配置されました。図書室職員は教育研修推進室の配属となり、図書業務に加えて、臨床研修管理や実習生の受け入れ業務、職員教育に関する研修案内や実績管理など忙しい日々ですが、職員の資質が向上し、患者さんのために良い医療が提供できるよう支援しています。

❖高山赤十字病院図書室

田中君枝



昨年度、PCシステムのリース期間終了に伴う入れ替えの機会に図書室および図書閲覧室に端末台数が増え、プリンターとして使用する複合機も新品になりました。便利な電子製品の利用が今後増えて行くことを期待します。部屋数も一時期は二部屋になっていましたが三部屋に戻りました。山間の僻地にあり、大学まで一時間半程度かかることもあり小規模診療科の雑誌も充実させています。

❖伊勢赤十字病院研修センター図書室

小林美香子



私が図書担当になってから8年。この間の図書室に関する動きはめまぐるしく、看護研究支援、外国雑誌の完全電子ジャーナル化推進、患者図書室の新設、病院引っ越しと多岐にわたっている。

新病院図書室は職員用・患者用とも、アクセスのよい位置に配置され、利用者数も増加している。今後の課題は、チーム医療推進の観点から、医療提供側と医療受診側の双方に対する情報支援をしていきたいと考えている。

❖大津赤十字病院図書室

深井鮎美



今年度で図書室勤続が6年目になりました。

基本的に図書室職員は一人で変化はないですが、図書室常連医師は毎年変化があります。

今年度に赴任されたある医師は県外から初めて滋賀に移住されたそうで、図書室に訪れてはお勧めのスーパーや観光情報など医学ではないレファレンスを求められます。

ネットであれこれ調べ、自らも滋賀の知識を仕入れると共に、口数の少ない一人職場で会話ができるありがたい機会になっています。

❖長浜赤十字病院図書室

川瀬百合子



当院は、湖北地域の急性期医療を担っています。滋賀県の北部に位置し、東に伊吹山。ヘリポートから雄大なびわ湖を臨むことができ自然に囲まれております。

当院の図書室事情。活字派と電子派。また、和雑誌と外国雑誌。などと個々の意見も様々。

部長にゆだねてよいのか、若い医師や研修医の意見を取り入れるべきか日々考えることがいっぱいです。みなさんはどうされてますか？

❖大阪赤十字病院図書室

雨乞久美



当院は、2013年1月より電子カルテシステムが稼働となり、電子化の波に乗っています。

洋雑誌も電子ジャーナル化が進んでおり、2014年以降は、冊子体が10タイトル弱となる予定です。そんな中、図書室に設置されているのは、文献検索端末4台に電子カルテ端末2台……。みなさまに利用して頂けるよう、今後も環境整備に力を入れていきます。

❖高槻赤十字病院図書室

上成弥生



高槻赤十字病院図書室は、日赤図書室協議会設立当初より協議会へ参加させていただいております。現在は組織の改編などを経て診療情報管理課図書係として兼任担当者のみで細々と運営しておりますが、一昨年には小さいながらも患者さま用のスペースを外来フロアにオープンすることが出来ました。今後も医療者の向上心・研究心に添える環境を整え、患者さまなどの利用者へのサービス面の向上に日々努力して参ります。

❖京都第一赤十字病院図書室

池田和代



現在当院は改築中で、図書室も元病室から元MR室へと、ここ数年で2回の引越しをし、やっと来年には新棟へ落ち着くことができます。

というので、元MR室である現図書室内には、受付の文字のあるカウンターや高磁場発生中などのサインがあり、新採用の利用者は??となっているようですが、それなりに居心地がいいと言っております。

❖京都第二赤十字病院図書室

川野真樹



当院図書室は2006年から図書室機能整備が始まり、2007年には職員向けの病院図書室としてだけでなく患者向け図書サービスを行うようになりました。

2006年当時、雑誌は冊子体中心で電子ジャーナルと言えば、冊子体の付属無料サービスを利用するだけでしたが、現在は冊子体より電子ジャーナルでの契約が増えました。扱う資料が電子に変化しても利用者に“あって良かった”と言われる図書室を目指し環境整備を行いたいと思っています。

❖日本赤十字社和歌山医療センター図書室

鳥淵早希子



本センター図書室は、2012年に患者図書室を新設、病院図書室をリニューアルしました。

蔵書数は約2万冊（1994年以前の書籍と2004年以前の製本雑誌は別置）、国内雑誌1,021誌（うちEJ930誌）、外国雑誌2,132誌（うちEJ2,130誌）を購読しています。

職員は24時間いつでも利用可能であり、また、利用者のニーズに沿ってパソコン台数を増加・電子ジャーナル等の充実を図る等、利用環境を整えて多くの方に利用されています。

❖姫路赤十字病院図書室

岡本美春



当院は兵庫県姫路市に明治41年4月に開設された105年の歴史ある病院です。

平成13年11月に移転し、平成25年1月に事務管理棟が新設されました。図書室はその2階に設置され、昭和47年の図書室開設から7回目の引っ越しとなりました。面積は139㎡で、職員は365日24時間利用できます。どなたでも快適に過ごしていただけるよう心がけ、質の向上に努めていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いたします。

❖神戸赤十字病院図書室

藤 有造



神戸赤十字病院は、同じ敷地内の“兵庫県災害医療センター”と連携して活動しているのですが、図書室も同じように連携して共同利用しています。

病院2階の片隅にある40㎡強の窓のない小さな部屋ですが、患者様・職員・その他利用希望の方に、精一杯の情報提供サービスをしています。

一人勤務の担当者の相手をしていただき、最大限に能力を引き出してくださる利用者の皆様に“感謝”の日々を過ごしています。

❖鳥取赤十字病院図書室

篠原由香里



当院は、鳥取県東部の中核病院として大正4年に開設され、平成27年に100周年を迎えます。

図書室は、24時間利用可能ですが医局と隣接しているため、看護師・コメディカルには、若干利用しづらい場所となっているようです。平成31年には増改築事業が完了し、図書室は現在病棟として使用している建物の中の一室を改修しそこに移動する予定です。今より規模は小さくなりますが、電子化を視野に入れて動き出そうとしています。

❖松江赤十字病院図書室

井谷千佳子



松江赤十字病院の図書室は、平成24年度に新築した本館4階にあり、医局とは隣接する配置となっています。同室には文献検索用の端末2台と院内手術の動画閲覧用の端末が2台、また和雑誌・洋雑誌は1992年版より所蔵し、他多数の書籍を備え、医師、看護師をはじめ、多くの職員が利用しやすい環境づくりを心掛けています。協議会の皆さま、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

❖益田赤十字病院図書室

山本杏奈



益田赤十字病院は島根県西部に位置する病床数327床の地域中核病院です。図書担当者が兼任1名であるため、主にバックナンバーの保管・閲覧、ネット検索、ワークスペース等としての活用が中心となっています。所蔵数が少ない為相互利用ではお世話になる事が多いと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

❖岡山赤十字病院図書室

亀山由紀乃



当院図書室は医療情報管理課に所属し、本館2階の管理棟の医局や部長室の隣にあります。職員が利用しやすい場所にあり、医師や看護師の方々に多く利用されています。現在から2001年までの和洋雑誌を所蔵し購読雑誌は115誌で書籍も多数置いています。またインターネット用パソコン3台、電子カルテ用パソコン1台、閲覧席17席設置しています。4月から図書担当になり不慣れでご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、宜しくお願い致します。

❖庄原赤十字病院図書室

山口育子



当院の図書室は、平成23年2月から増改築工事に着工し、平成24年5月に新しい図書室(面積12.64㎡)が出来ましたが、以前より狭くなりました。そのため、新刊の雑誌と専門誌についてはそれぞれの部署で保管し、図書室では雑誌のバックナンバー、法規類を保管しています。管理は総務課が担当しており、24時間利用可能とし職員が自由に使用できます。

❖三原赤十字病院図書室

吉田匡秀



三原赤十字病院の図書室は平成22年に外来管理棟4階の医局の隣に移動し面積は73.08㎡と広いものではありませんが、24時間利用可能で、医師にとって利用しやすい場所となっています。また、看護雑誌も置いてあるため看護師の利用も多くあります。蔵書数も少なく、まだまだ十分な環境ではありませんが、職員が利用しやすい環境を目指しています。今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。

❖広島赤十字病院図書室

繁定繁乃



駐車場に新棟を建設するため図書室があった建物(看護学校)を壊し立体駐車場が出来たところです。今、図書室は仮住まいです。元フィルム倉庫60㎡でフィルム架に両側から本を詰めています。終の棲家もどこになるのか、予定が二転三転している状態です。狭いため、なかなか全体が写真に入りませんが苦心のレイアウトをご覧ください。

❖山口赤十字病院図書室

磯部 篤志



山口赤十字病院は、県央部県庁所在地である山口市中心部に位置しております。

当病は書架を設置する部屋が無いため、蔵書は台帳により図書係が把握し、図書自体は各部署に設置する方式です。代わりに電子医学資料閲覧用としてインターネット端末3台を有す「図書PC室」を設けております。

この狭小空間で、職員のニーズにいかに対応していくかという点が今後の課題です。

❖高松赤十字病院図書室

石下 美代



当院は、2003年まで看護専門学校を併設していた為、看護に関する古くて希少な書籍を所有しており、他院から多くの文献複写依頼があります。

来年度より新館への建替え工事が始まり、図書室も移転予定ですので、完成までの間文献複写等で皆様にご迷惑をお掛けすると思いますが、迅速に対応できるよう努めて参りたいと思います。

新図書室完成の際は多くの職員に利用して頂きたいです。

❖徳島赤十字病院図書室

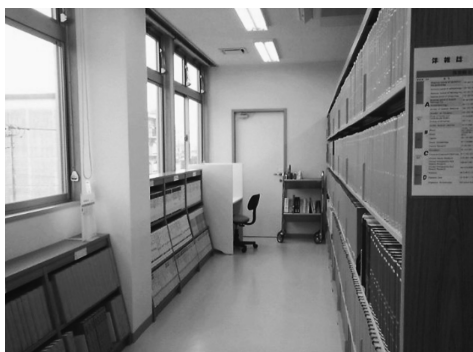
大岸 真壽美



平成18年5月に新築移転した当院の図書室は、医局や管理部門のある4階に位置し、広さは126.2㎡です。書庫は約26㎡と手狭ですが、閲覧スペースは約80㎡を確保しており、光庭に面して明るく、落ち着いた環境を整えています。インターネット端末、ビデオ編集用端末、大型スキャナ、カラーレーザープリンタ、コピー機などを設置し、24時間利用可能です。また1階に独立した患者図書室があり、1日30～40人の利用があります。

❖高知赤十字病院図書室

宅間 五月



図書室が引越しました！

平成24年4月23日、新しくできた事務所棟（プレハブ）の3Fに引越しました。新図書室は、北側の窓が明るく開放的で、読書や文献検索、論文執筆などご利用下さい。文献検索用パソコンをもう1台設置しました(合計2台)。図書室の隣には、会議室があり看護研究などでグループ討議をされるのにもちょうどいいのではないかと思います。

今は、新病院建築に向けての新図書室構想に頭を悩ませております。

❖松山赤十字病院図書室

美濃 彩加



私は、図書室担当になり今年で5年目になります。1年目は仕事を覚えるのに必死でしたが、現在は大分慣れました。しかし、まだまだ勉強の日々です。雑誌・書籍の電子化が進み、当院も洋雑誌の大部分は電子ジャーナル化していることから、電子医学資料の利用促進を図っております。利用者が入手したい情報に素早く辿り着けるように利用しやすい図書室を目指して頑張っていきたいと思えます。

❖福岡赤十字病院図書室

村上ひかり



当院では2007年より電子ジャーナルの本格導入を開始しました。現在は、洋雑誌を中心に購読希望雑誌の約半数を電子ジャーナルで閲覧可能です。その機能を十分に活かし、利用者へ提供できる図書室を目指します。

当病院の図書室担当となり半年が経ちますが、日々勉強になることばかりです。日頃から、皆様には文献複写や業務等で大変お世話になっております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

❖日本赤十字社長崎原爆病院図書室 ————— 糸原良典



当院では購入図書を、要望があった各部署で保管しています。図書室は存在しますが、書籍に関しては共有物（診療部全体として購入したもの等）のみを陳列しています。電子カルテ PC が5台設置しており、所蔵図書・保管部署の検索が可能です。また、インターネット接続の PC が1台あり、電子ジャーナルの閲覧を行えます。

❖大分赤十字病院図書室 ————— 江藤大輔



当院図書室は、管理棟5階に設置されており、24時間利用可能です。またインターネットを利用できる環境を備えています。

図書については、一部各診療科別に直接配布しており、その分に関しては各診療科で管理をお願いしています。

兼務（施設用度課）で行っているのですが、細かいところまで手が回らないこともあります。今後図書機能の充実のために頑張っていきたいと思っています。

❖熊本赤十字病院図書室 ————— 吉田慶子



当院図書室は、建物2階医局内の一番奥にあり、職員には24時間開放し、担当1名（補助1名）で図書・雑誌の購入・受入・貸出管理、文献複写の收受等の業務を行っています。一般図書と雑誌は、可動式書架に部署別に所蔵しています。また、院内イントラ端末4台、電カル端末5台、電カル統計用端末5台を配置しており、誰もいない時がないくらい医師をはじめ多くの職員に有効に活用していただいております。

❖❖沖繩赤十字病院図書室

久高千秋



医学図書室は3階医局に隣接し、職員は24時間利用可能です。将来の電子化を想定し、広さは約30㎡ですが、沖縄の暑さを忘れる涼しい空間で快適の室内です。私は嘱託司書として4年目の勤務となりました。図書業務に悩むこともありますが、協議会の皆様に支えられ大変感謝しております。当院から望む与儀公園は1月から2月に開花するカンヒザクラの名所です。

いつでもめんそ〜れ！（いらっしゃいませ）